

12 宮島水族館事業特別会計

「いやし」と「ふれあい」を基本理念に、海の生きものをより身近に感じられる参加・体験型的水族館として管理運営を行った。平成 29 年度の入館者数は、471,520 人であり、平成 23 年度にグランドオープンして以来の累計入館者数は、3,741,474 人となった。

区 分	入館者数 (人)	水族館使用料 (円)
平成 23 年度	660,412	754,063,110
平成 24 年度	626,168	685,946,450
平成 25 年度	497,585	543,062,930
平成 26 年度	492,083	501,785,390
平成 27 年度	500,805	502,564,900
平成 28 年度	492,901	491,803,380
平成 29 年度	471,520	471,026,170
累 計	3,741,474	3,950,252,330

(1) 一般管理費

ア 水族館一般管理事業

357,673,427 円

市全域の観光振興と地域経済の活性化に寄与する水族館として、広報・営業活動等を積極的に展開し、集客力と収益性の向上に努めた。また、PFI 事業者等により円滑な運営を行うことで、入館者への良質なサービスの提供に努めた。

施設維持管理業務委託料	57,974,400 円
施設運営管理業務委託料	172,174,032 円
広告宣伝業務委託料	38,000,000 円

(2) 施設管理費

ア 水族館管理運営事業

21,000,077 円

瀬戸内海に生息する生きものを中心に安定した展示を行うとともに、新規生物の展示や展示手法を見直すことにより、集客力の向上及び入館者の満足度を高めることに努めた。

魚類等輸送業務委託料	5,519,976 円
空気圧縮機定期自主検査業務委託料	232,200 円

イ 駐車場管理運営事業

13,100,295 円

PFI 事業者による管理・運営により、水族館利用者及び宮島への観光客の重要な中継施設として、また、島民をはじめ、付近住民、通勤客の利便施設として機能した。

一時利用による利用台数は、27,180 台で、前年度に比べ 940 台の減少となった。平成 29 年は宮島への来島者数が過去最高を記録したことにより、大型車は増加したものの、大型車以外の車種においては減少となった。

区 分		台数 (台)	駐車場使用料 (円)	
平成 28 年度	定時利用	普通車	588	5,870,230
	一時利用	二輪車	326	98,100
		普通車	22,104	23,730,000
		中型車	1,007	3,034,000
		大型車	4,683	16,444,500
		合 計	28,120	43,306,600
平成 29 年度	定時利用	普通車	586	5,832,550
	一時利用	二輪車	255	76,800
		普通車	20,726	22,169,000
		中型車	927	2,794,000
		大型車	5,272	18,493,500
		合 計	27,180	43,533,300

駐車場施設維持管理・運營業務委託料

12,368,160 円